

# 飼い主の殺処分ゼロへ いない猫

## 中山間地 不妊手術を集中実施

西臼杵3町と  
どうぶつ基金



施術を終えて病院車から搬出される猫

西臼杵3町(高千穂、足影、五ヶ瀬)と公益財団法人どうぶつ基金(兵庫県芦屋市、佐下邦公理事長)は23日、飼い主のいない猫に無料で不妊手術を施す地域集中型「TNRプロジェクト」を始めた。今後3カ月で400〜500匹を施術する。野良猫の殺処分ゼロを目指す。

TNRは「Trap(捕獲)」「Neuter(不妊手術)」「Return(元の場所に戻す)」の略。施術後に耳先を花ひら型にカットする「さくらね活動」とも呼ばれる。



「TNRプロジェクト」の決起会。さくらねこのポーズを取る出席者=23日、五ヶ瀬町鞍岡の紙園テラス鞍楽

「TNRプロジェクト」の決起会。さくらねこのポーズを取る出席者=23日、五ヶ瀬町鞍岡の紙園テラス鞍楽。野良猫の繁殖を制限し、人間と猫が共存できる地域環境保護を目的としている。

同基金によると、県内に生息する未手術の猫は2024年9月時点で509匹。中山間地域では不妊手術を施せる動物病院が近くにない、飼い主のいない猫の不妊化率が低い。子猫の遺棄や高齢で体の自由が利かなくなったことによる多頭飼育崩壊なども多い傾向にあり、早急な対応が求められているという。

3町はこれまで、同基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」を活用し、ボランティアと共働で未手術の猫を減らす活動を展開。昨年度中に県内唯一の協力病院が閉院を決めたことから昨年10月、同基金へ要望書を提出し、プロジェクト発足の準備を進めてきた。

プロジェクトでは、今年7月まで毎月数回、移動病院車が日之影町と五ヶ瀬町を訪問。猫の不妊手術、ワクチン投与、ノミダニ駆除を受けることができ、医療費は100%同基金が負担する。施術は、獣医師で年間3000〜4000匹の実績を持つスベイクリニック(熊本県熊本市)の長井和樹院長(42)が担当。施術時間は1匹5〜15分程度で、希望者は各町の担当課(高千穂町民生生活課高千穂73・

1203、日之影町民生福祉課日之影87・3802、五ヶ瀬町民生課五ヶ瀬82・1704)に申し込む。

この日は五ヶ瀬町鞍岡の紙園テラス鞍楽で決起会があり、甲斐室之高千穂町長、佐藤貴日之影町長、小迫幸弘五ヶ瀬町長ら約20人が出席。その後、近隣などで捕獲された14匹の施術が行われた。

佐下理事長(65)は「一匹でも未手術の猫が残ると、すぐに繁殖が再開してしまふ『殺処分ゼロ』『人と動物が調和して暮らすまち』を実現するため、このプロジェクト中にできる限りのことをしたい」と話した。

プロジェクトの日程と場所は次の通り。  
【日之影町】6月24〜27日、7月23〜26日、大人数の猫の処  
【五ヶ瀬町】今月26日、紙園テラス鞍楽、5月27〜30日、未定